之ニ付何方ゟ茂違乱妨申者於有之ハ後日
五人組名主加判之永代売券状仍而如件

宝暦九己卯年
五月十日

家屋鋪
売主 藤七
五人組 七左衛門
門 三郎兵衛
名主 平四郎
異屋鋪請所名主後見 市左衛門

堀江橋本屋殿

前書之通訳ニ而私所持家屋敷代金六両弐分ニ
堀江橋本屋方へ永代売渡代金不残請取申所
実正也然上者何之五人組立合相改候上者
故ニ以而売券状江加判いたし候処少茂相違無之候
以上

卯五月十日

家屋鋪
売主 藤七
五人組 十左衛門
門 三郎兵衛
家主 伊兵衛
門 市左衛門

名主 平四郎殿
後見 市左衛門殿

右証文ニ而家屋敷共金七万両ニ代金
法書ニ而之通ニ致シ候ニ付而ハ私ニ於而
何事ニ而も相違無之候ニ付而ハ
家屋敷ニ而ハ
実ニ
手形

国立国会図書館　タイトル『沽券状之写』　請求記号 807-132

ガラス使用

右証文面之家屋敷代金六百両ニ而
求申候所実正ニ候処相違無御座候
右家屋敷売券之儀何事ニ付申訳
無御座候以上

寛政九年巳七月廿八日

売主　親
清兵衛　㊞

右家屋敷代金六百両ニ而
二月中売渡ス事

一　中渕町北側四軒目表口弐間奥行
京間拾弐間半裏行弐間壱尺裏幅弐
軒ニ而家屋敷共ニ代金三百両ニ而
代金百両ニ而売渡ス事

一　中渕町北側四軒目表口弐間奥行
京間拾弐間半裏行弐間壱尺裏幅弐
軒ニ而家屋敷共ニ代金三百両ニ而
代金百両ニ而売渡ス事

寛政十庚午年二月十二日

家主　親
清兵衛　㊞

国立国会図書館　タイトル『沽券状之写』 請求記号 807-132
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『沽券状之写』　請求記号 807-132

ガラス使用

一山城國葛野郡木嶋坐天照御魂神社
永代賣渡申田畠之事
合壹町九拾九歩 但米数合壹石九斗
右件田畠者依有要用賣渡代銀
拾貫目也 但銀子請取之上者
後日之違乱申者有之間敷候
若違乱申者有之候ハヽ
為証文仍而如件
寶暦十庚辰年
十二月廿日

永代賣渡申證書之事

實暦十一年庚辰十一月廿日

前書之家屋敷之内東之方ニ而永代賣渡申候家屋敷ニ付
永々雨垂ニ而も隣家屋敷へ懸り候儀無之候
為後日証文仍而如件

寛政三年亥四月十日　家屋敷賣渡主　平兵衛
平兵衛殿
平兵衛殿
文助殿
利八殿
右平宮殿
清左衛門殿

紙屋
平兵衛
家屋敷賣渡主
平兵衛
文助
利八
右平宮
清左衛門
平三郎

前書之通私一切ニ而家屋敷
平兵衛方へ永代賣渡申候ニ付
而ハ後日之為証文仍而如件

辰十一月廿日

家屋敷賣渡主　平兵衛
文助
利八
右平宮
清左衛門
平三郎

国立国会図書館　タイトル『沽券状之写』　請求記号 807-132
ガラス使用

永代賣渡申家屋敷之事

一、家屋敷 東側北角ゟ南江弐間 西側北角ゟ南江弐間半
　　裏行 東側北角ゟ西江弐間半 西側北角ゟ西江弐間半

右家屋敷永代賣渡申所実正也、然ル上者、此家屋敷ニ付、
何方ゟ出入等一切無之候、尤此家屋敷ニ付、
公儀御法度之筋一切無御座候、
若此家屋敷ニ付、
公儀ゟ御法度之筋出来候ハヽ、
売主ニ而急度埒明可申候、
為後日永代賣渡証文仍而如件

寛保十年庚午十二月　日

家屋敷賣主　久兵衛

永代賣渡申家屋敷之事

一、家屋敷 東側北角ゟ南江弐間 西側北角ゟ南江弐間半
　　裏行 東側北角ゟ西江弐間半 西側北角ゟ西江弐間半

右家屋敷永代賣渡申所実正也、然ル上者、此家屋敷ニ付、
何方ゟ出入等一切無之候、尤此家屋敷ニ付、
公儀御法度之筋一切無御座候、
若此家屋敷ニ付、
公儀ゟ御法度之筋出来候ハヽ、
売主ニ而急度埒明可申候、
為後日永代賣渡証文仍而如件

寛保十年庚午十二月　日

家屋敷賣主　紙屋平吉

国立国会図書館　タイトル『沽券状之写』 請求記号 807-132

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『沽券状之写』　請求記号 807-132

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『沽券状之写』 請求記号 807-132

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『沽券状之写』 請求記号 807-132

ガラス使用

807
132

国立国会図書館　タイトル『沽券状之写』 請求記号 807-132

ガラス使用

元文　庚申歳閏七月

寛延元戊辰歳十月改之写

田中氏　正賢

同　書

国立国会図書館　　タイトル『沽券状之写』　請求記号 807-132

ガラス使用

名主
田中平四郎

国立国会図書館　タイトル『沽券状之写』 請求記号 807-132

ガラス使用

807
132

国立国会図書館　タイトル『沽券状之写』 請求記号 807-132

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『沽券状之写』 請求記号 807-132

ガラス使用